

（公財）神戸大学六甲台後援会だより（66）

公益財団法人神戸大学六甲台後援会

理事長就任にあたって



公益財団法人神戸大学六甲台後援会理事長

稲垣 滋

清秋の候、凌霄会会員の皆様には益々ご健勝のこととお慶び申し上げます。平素から当財団に対し温かいご支援ご協力を賜り誠にありがとうございます。

2021年6月22日から、高崎正弘前理事長の後任として理事長に選定されました稲垣滋（昭和45年、経済卒）でございます。諸先輩の母校への熱い想いによる財団の創設から63年という長きに亘って活動を継続してこられた関係者の皆さんの志を受け継ぎ、微力ではございますが評議員、理事、監事の皆さんと共に運営に取り組んでまいりますので、これまでに増して凌霄会会員の皆様のご支援、ご協力の程よろしくお願い申し上げます。

新型コロナウイルスのまん延状況が収束するのはまだまだ先になると思われ、まだ油断できるような状況にはありませんが、このご挨拶が皆様のお目に止まる頃には、収束に向けた気配が

見え、少しでも明るい見通しとなっていることを願わずにはおられません。くれぐれもご自愛ください。

当財団の活動概要について

当財団が行う事業は、教員（六甲台5部局）向け・学术交流促進・学術成果公開助成事業、学生（学部生・大学院生）向け・教育の充実、大学向け・学術基盤整備助成事業、その他・ロイ・スミス館整備等となっております。国立大学が法人化された2004年度から2020年度までの助成実績の内訳は以下の通りです。なお、2020年度の助成内容の詳細につきましては、本誌に掲載しています「（公財）神戸大学六甲台後援会だより」の令和2年度事業報告について」をご覧ください。

2004年度から2020年度までの助成実績 累計826百万円（48・6百万円／年）（単位：百万円）

教員向け380 (46%)	学生向け238 (28.8%)	大学向け134 (16.2%)	その他74 (9%)
------------------	--------------------	--------------------	---------------

2004年度から2020年度までの助成事業に占める寄附金の割合（単位：百万円）

資金運用による果実619.5 (75%)	寄付金206.5 (25%)
-------------------------	-------------------

\*2020年度末の正味財産の額は1,685百万円です。  
このように当財団の活動基盤は、皆様からの寄附金が原資となっております。

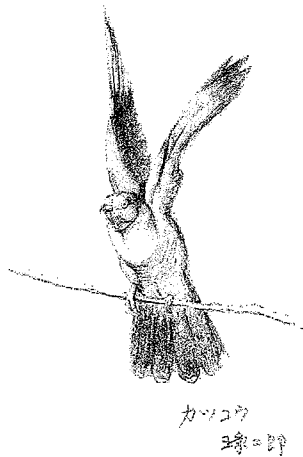
## 助成事業の充実について

助成事業につきましては、これまでから常に見直し等を重ね時代に対応した事業を推進して参りましたが、神戸大学が推進しようとしていますグローバル化、異分野共創研究教育基盤の強化充実に対応した助成の在り方についても検討を加え、支援の見直し、充実並びに強化を図って参ります。

## 資金運用の効率化について

助成事業に必要な財源の内訳につきましては、先に記しましたように正味財産の運用による果実（受取利息・配当）が75%、当該年度の皆様からの寄附金が25%となっております。このうち資金運用による果実につきましては、世界の経済情勢の影響を受けた市場環境が直接的に反映されることから、昨年度の運用利回り実績は約2・54%となっております。今後も経済情勢等の状況を注視しつつ、資金運用の効率化に努めて参ります。

最後になりましたが、何卒意のあるところをご理解いただき、より一層のご支援を重ねてお願い申し上げます。



## 令和3年度のほとんどが自粛期間

新型コロナウイルス感染拡大防止のために令和3年4月25日から発出されていた緊急事態宣言は、6月20日まで延長された後、6月21日からまん延防止等重点措置に変更されて7月11日まで実施されていきました。神戸大学のある兵庫県神戸市は7月11日でもん延防止等重点措置がとりあえず解除されましたが、隣県の大阪府では8月22日まで延長され、これまで京阪神で足並みをそろえてきたものがここに来て大阪だけを特別扱いするような措置に変更されてしまい、首都圏の状況と比較して、それで本当に感染症対策として適切であるのか否かが問題とされていきました。

その中で、7月12日からの東京都での緊急事態宣言の4度目の発出に際して、担当大臣の不適切な発言が物議をかもしましたが、当の本人がちょうど行われている兵庫県知事選挙の応援演説で神戸入りしたことも重なって、一般市民には移動の自粛を要請しておきながら担当大臣が東京から兵庫までわざわざ移動してくるとは何事か、この夏の自粛要請にはほとんど実効性はないのではないかという点が議論され、オリンピック開催と相俟ってコロナの感染拡大が懸念されるような今日この頃になっています。本稿が公刊される頃はオリンピック・パラリンピックも終了し、どこまで緊急事態宣言、まん延防止等重点措置が続いているか不明であります。とにかく令和3年度が始まってからほとんどの日時が何らかの対策期間となっており、自粛の要請がない期間がないような状態が続いています。

## 令和3年度の前期終了間近

そのような中で実施された令和3年度の前期講義期間は、やはり大学キャンパスは日常とかけ離れた状態のままでありました。学部の第1クォーターの期末試験はほとんどがやはりオンラインで実施されたし、第2クォーターは8月3日まで講義期間となり、ただ第2クォーターはまん延防止等重点措置も解除されていることもあって一部で通常の教室での対面式試験が実施されることになっています。講義も第2クォーターからは一部で対面式とオンラインが組み合わせられたハイブリッド方式で実施され、学生の姿も少しずつキャンパスに戻ってきているような日常になっていました。

ただ、6月末から7月に入ってから雷の鳴る大雨も続き、神戸市東部（六甲）地区に大雨・土砂災害警報が出されることが頻繁に起こり、通学に危険があることから登校規制も出されるようになり、まだまだ非日常の中の日常の状態が続いています。特に静岡県熱海で発生した土砂災害もあり、丘の上に位置している六甲台キャンパスではその点からの注意の呼びかけも頻繁に行われているような日々が続いているわけです。

結局、六甲台の社会科学系部局では、オンライン講義が中心の令和3年度前期でありました。ただ、大学院生を中心に学生がぼちぼち戻ってきていることもあって、アカデミア館の食堂は営業を再開し、生協の購買部も開かれるようになって、令和2年度よりは少しずつ元に戻り始めていると思われれます。

その中で関西のプロ野球チームが

おそらくこの記事が公表される頃にははつきりとした結果が

出ているだろうと思いますが、令和3年度はセパ両リーグともに関西のチームが躍進しています。セリーグは阪神タイガースが今年入団した新人選手の活躍もあって、またパリーグはオリックス・バファローズが投手力を充実させ、打者もそれに呼応するかのようになり張りを見せて首位をキープして前半戦を終えています。このままいけば57年ぶりの関西のチームによる日本シリーズがあるのではないかとワクワクする秋を迎えることになりそうです。前回の関西対決は、1964年の御堂筋シリーズと呼ばれていたバッキー・村山を抱えた阪神タイガースと後にタイガース監督となる野村・杉浦の率いる南海ホークスが対戦した日本シリーズでした。その年は、偶然にも前回の第18回オリンピック東京大会が開催された年でもあり、第32回東京大会が開催される今年は、日本シリーズが関西対決、それも神戸対決になるのではないかと期待を抱かせるものとなっています。もちろん、両チームともリーグ優勝だけではだめで、クライマックス・シリーズを勝ち抜くことが必要になりますが、東京でオリンピックが開催される年にはプロ野球日本シリーズで関西対決が行われるという実績を残してもらいたいものです。そのような秋がやってくることを期待しながら、コロナ禍の続く暑い夏を乗り切りたいと考えているのは筆者だけでしょうか。

神戸大学でも職域接種が始まる

コロナ禍を落ち着かせるためには、なによりもワクチン接種が必要であることはいまでもありません。65歳以上の高齢者の方は概ね接種されている状況になっていますが、65歳未満の方

者のワクチン接種はなかなか進みません。その中でも、6月28日から神戸大学で職域接種が始まりました。まずは教職員から始まったのですが、その希望者に対する1回目の接種がほぼ終わりかけたころ、ワクチン供給量の不足という事態が突然公表され、学生接種が計画を立てられないような状態に陥っています。教職員の1回目接種が終わったものに対する2回目接種は行われるようですが、若年層の学生を多く抱える大学としては、当初予定されたワクチンをちゃんと配布してもらわないとどうしようもない状態になってしまいます。まさに令和3年度後期の講義が通常通り行えるか否かは、ワクチンが予定通りに国から配布されるかどうかにかかっています。無事に学生を含めて全員のワクチン接種が完了するように祈りたいと思います。そして同時に、それは六甲台後援会の事業がスムーズに実施できるかどうかとも関連する問題でもあります。

#### 令和2年度事業報告について

当財団の令和2年度の事業報告は、ご支援くださる皆様方に財団の活動内容をご理解いただきたくホームページ上にもありますが、(1)学術交流促進・学術成果公開助成事業、(2)教育の充実・学術基盤整備助成事業、(3)学術交流施設（ロイ・スミス館）の維持管理事業という当財団が行う主要な事業別にその概要についてご報告させていただきます。

令和2年度では、学術交流の促進と学術成果の公開、教育の充実に係る助成事業を継続して実施すべく事業計画を立てていきましたが、新型コロナウイルス感染症拡大防止のために教員、学

生等に対する様々な活動が制限され、教員の海外派遣支援、国外でのシンポジウム開催支援、学生の海外派遣支援等の事業が実施できなくなりました。なお、教員の海外派遣支援については、令和3年度に繰り越して実施することにしました。

一方、神戸大学基金が、新型コロナウイルス感染症拡大の影響により経済的被害・損失を被った学生を支援するために立ち上げた「新型コロナウイルス感染症対策緊急募金」に当財団設立の経緯や当財団の目的等との整合性等を検討の上、同募金を支援する新しい事業を実施しました。

学生の大学入構が禁止される中、平成30年度に新設した「キヤリア形成支援」（六甲台就職相談センター支援）事業は、WEB面談と対面面談を並行して実施しました。さらに平成27年度から行っている凌霄出身者による寄附講義「社会科学の実践」（学部1、2年生対象）支援事業は、すべてオンラインにより実施し、好評のうちに終了しました。

毎年、ご報告しております平成27年度に新設した科学研究費獲得を推進するための「研究プロジェクト支援」の助成事業において4件を助成した結果、1件が令和3年度科学研究費（基盤研究B）に採択され補助金交付決定を受けたことをご報告いたします。

今後とも、本財団に対して、従前と同様のご協力とご支援を賜わることをお願い申し上げます。

#### 事業報告の概要（金額は千円未満四捨五入）

1 学術交流促進・学術成果公開助成事業	3,450千円
1-1 学術交流の促進	2,450千円

(1) 学会・シンポジウム等開催支援・・・・・・・・・・2,450千円

○経済学研究科 (100千円)

・第8回神戸・ブリュッセル国際カンファレンス

期日 令和2年10月22日

場所 神戸大学及びブリュッセル研究所(オンライン開催)

○国際協力研究科 (2,000千円)

・第13回極域法国際シンポジウム

期日 令和2年10月22日

場所 神戸大学及びブリュッセル研究所(オンライン開催)

○経済経営研究所 (350千円)

・The 11th International Conference of THE JAPANESE ACCOUNTING REVIEW

期日 令和2年12月26日

場所 神戸大学(オンライン開催)

1-2 学術成果の公開・・・・・・・・・・1,000千円

(1) 学術研究成果刊行支援・・・・・・・・・・1,000千円

○国際協力研究科

・井上武著「インドの金融発展：経済成長と貧困削減に向けた銀行部門の役割」(株晃洋書房)

2 教育の充実・学術基盤整備助成事業 12,053千円

2-1 教育等の充実・・・・・・・・・・10,853千円

(1) 社会科学特別奨励賞(学部)・・・・・・・・・・917千円

経済学部・経営学部・法学部の学部学生(2年生～4年生)

の成績最優秀者への奨学金支給

(2) 六甲台賞(3名)・・・・・・・・・・316千円

(3) MBA加護野忠男論文賞・・・・・・・・・・220千円

該当年度に発表された神戸大学MBA全論文の内、特に優れた論文へ授与

(4) 相互履修科目開講費・・・・・・・・・・1,130千円

他学部学生向け増設専門講義科目

・経済学部・エッセンシャル・ミクロ経済学、エッセンシャル・マクロ経済学

・経営学部・エッセンシャル経営学、エッセンシャル会計学

・法学部・エッセンシャル民法、エッセンシャル商法

(5) 久研究奨学基金による学生の海外研究活動に対する支援 600千円

(6) 新型コロナウイルスに関係する学生支援 3,000千円

(7) 学部学生に対する支援 2,720千円

・経済学部教育プログラム経費

・経営学部教育プログラム経費

・法学部教育プログラム経費

・学部共通講義教材経費(凌霄会・六甲台後援会寄附講義)

・キャリア形成教育経費

(8) 大学院学生に対する支援 1,950千円

・経済学研究科教育プログラム経費

・法学研究科教育プログラム経費

・法学研究科エクスタインシップ実施経費

2-2 学術基盤整備・・・・・・・・・・1,200千円

・経営学研究科・・・・・・・・・・1,200千円

NPM関連データサービス

3 学術研究助成事業・・・・・・・・・・4,050千円

(1) 研究プロジェクト支援・・・・・・・・・・1,600千円

○経済学研究科

・竹内憲司教授「環境保全と貧困緩和の統合戦略に関する経済学的研究」

○法学研究科

・手嶋 豊教授「少子高齢化社会福祉システムの多文化化・スマート化・包括化に関する国際比較研究」

○経済経営研究所

・伊藤宗彦教授「エノキアン企業の事業継承とその発展プロセスの研究」

・濱口伸明教授「ラテンアメリカ発展停滞の政治経済構図に関する研究」

(2) 社会システムイノベーションセンター(社会科学系研究分野)

支援・・・・・・・・・・2,000千円  
・部門活動支援費

(3) 襄山研究奨学基金による学術研究に対する支援

450千円

4 事業費付帯経費・・・・・・・・・・13,052千円

いつも皆様の「ご寄附誠にありがとうございます」

今年も神戸大学基金に先行して「凌霜」7月号に凌霜会会員の皆様へ「寄附金についてのお願い」を同封させていただきました。8月5日現在となりますが、多くの皆様からご寄附をいただいております。誠にありがとうございます。

金額別に、芝元憲太郎様(平9経済) 2千円、篤田 実様(昭

34 経営)、片山常映様(昭37 経済)、香川暢也様(昭41 経済)、

柴田孝生様(昭55 経営)、山本雅俊様(昭39 経済)、玉村憲雄様

(昭41 経営)、永島健太郎様(平23 経営)、八田 伸様(昭43 経営)、

石井義章様(昭27)、櫻野孝人様(昭61 経済)、小嶋泰次郎様(昭

43 経営)、三木正弘様(昭43 経営) 各5千円、箕 若菜様(平

8 経営) 5千5百円、石原公栄様(昭43 経営)、井本浩司様(昭

34 経営)、浅野大策様(昭50 経済)、出原 敏様(昭47 法)、奥

田佳生様(昭64 法)、國森弘道様(昭41 法)、岡島源一郎様(昭

43 経営)、大屋好彦様(昭51 経営)、小仁昌敏様(昭43 経営)、

多田 葵様(平27 法)、太田真美様(昭53 法)、吉田道俊様(昭

48 経営)、横尾幸信様(昭54 経済)、前田豊治様(昭45 経済)、

松島茂樹様(平元 法)、木村勝實様(昭42 法)、岩崎 隆様(昭

47 経営)、森本浩三様(昭53 経営)、小林洋一様(昭48 経営)、

伊藤雅康様(昭55 経営)、関口年弘様(昭42 経営)、石崎守紀様

(昭56 経営)、進藤政和様(昭45 経済)、徳廣 巖様(昭38 法)、

福西 彰様(昭45 経済)、村主慶一様(昭35 経営)、松田兼太郎

様(昭43 経営)、住友宣明様(昭54 経済)、武貞文隆様(昭51 経営)、

辻 雄史様(昭34 法)、高見秀雄様(昭53 経済)、佐々木廣行様

(昭29 経済)、小林泰明様(昭51 経済)、斉藤哲夫様(昭37 経済)、

山根木堅之様(昭54 法) 各1万円、増井周司様(昭54 経済) 1

万5千円、大川為三様(昭33 法)、川田重信様(昭53 経営)、井

詰 潔様(昭39 経済)、山田晴男様(昭45 経済)、村上二道様(昭

28 法)、杉田文夫様(昭36 経済Ⅱ)、小幡浩士様(昭42 法)、中

尾 巧様(神戸大学学外理事)、辻 高幸様(昭55 経営)、長

地孝夫様(平26法学研究科)、小暮一寿様(平元経済)各2万円、宇佐美禎三様(昭32経済)、井野節子様(平15経済)、前田隆夫様(昭46経済)、阿知羅英夫様(昭44経済)、有森正和様(昭54法)、渡邊きさ子様(昭54法)、柴田伸一様(昭43経済)各3万円、渡会武嗣様(昭30経営)、鶴 浩一様(昭32経済)、平位和子様(平3経営)、番 尚志様(昭44経営)、山本 弘様(昭32経済)、柳生秀人様(昭43経営)、吉田 健様(昭32法)各5万円、新垣恒則様(昭40経営)、段野治雄様(昭40経済)、尾野俊二様(昭48経済)、辻本健二様(昭45経済)、坂井信也様(昭45経済)、松坂英孝様(昭55経営)、原田壽夫様(昭40経営)、杉原 豊様(昭42経済)、岡田信吾様(昭43経済)、瀧端美博様(昭49経済)、平松秀則様(昭42経営)、高士 薫様(昭50法)、高田順甫様(昭29法)各10万円、井村達男様(昭37経営) 15万円、宗兼邦生様(昭52経済)、栗花 明様(昭58経済) 各20万円です。誠にありがとうございます。

毎回お願いしています寄附金の送り先は左記のとおりです。また、本財団ホームページからもご寄附(クレジットカードによるご寄附、インターネットバンキングによるご寄附等)いただけますのでご利用ください。よろしくお願い申し上げます。

◎銀行送金の場合(銀行からの連絡が遅く、領収書送付が遅れないようにするため、お葉書でも電話・FAXでも結構ですから、送金のことについて事務局にご一報ください)

銀行名 三井住友銀行六甲支店  
口座番号 普通預金 4069496

口座名義 公益財団法人神戸大学六甲台後援会  
◎郵便振替の場合(通信欄に卒業年次と出身学部をご記入ください)

口座番号 0098019116772

口座名義 公益財団法人神戸大学六甲台後援会

◎本財団ホームページからのご寄附

ホームページ「ご寄附」のWEB申込みフォームからご寄附いただけます。<http://www.rokkodafund.com>

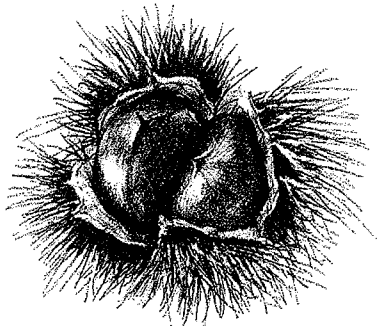
T65710068

神戸市灘区篠原北町4-11-5

公益財団法人神戸大学六甲台後援会事務局

電話・FAX(078)86113013

E-mail: [koenkai@rokkodafund.com](mailto:koenkai@rokkodafund.com)



球